



## 「いざという時」のためにできること



校庭の桜の葉もほとんど落ちてしまい、赤く色づいた葉がわずかに残るのみとなりました。今年も短い秋があっという間に終わり、いよいよ冬を迎えようとしています。

さて、11月12日(火)の休み時間に予告なしの避難訓練を実施しました。抜き打ちで行ったにもかかわらず、生徒の皆さんが思いの外落ち着いて避難行動をとることができていて、驚きました。

警報音の放送が入ると、それまでの休み時間でガヤガヤしていた状態から、ガタガタと机の下に入る音が聞こえ、その後はスーッと静まり返りました。グラウンドでも、先生の指示で中央に集まり、指示を待つ姿がありました。途中、3階の様子を見に行った時には、誰もいないと思った教室で、机の下にじっと避難している人がいました。その後、放送の指示で、静かに上の階に移動することができました。グラウンドから校舎内への避難も、先生たちの誘導でスムーズでした。

いざという時に安全に避難するためには、「自分自身が安全確保と避難の方法を知っていること」、「その場にいる大人が、緊急時の対応やマニュアルを理解していること」、それに加え、「落ち着いて指示を聞けること」も大切なことです。実際にはどのような状況になるかわからず、訓練どおりというわけにはいかないと思いますが、訓練でできないことは実際の時にはもっとできません。災害時に自分の身の安全を守る力をつけるために、やはりさまざまな場面を想定した訓練を繰り返し行うことが必要だと感じます。私たち大人自身も、自分たちにとっての訓練でもあるという意識を持って、取り組むことが大切です。

13年前の東日本大震災は、多くの児童・生徒が、まだ学校にいる時間帯に起きました。沿岸部で津波が甚大な被害を及ぼした中、岩手県釜石市内の児童・生徒の多くが無事でした。なかでも、海からわずか500mの位置にあった小・中学校の児童・生徒、約570名は、地震発生と同時に全員が迅速に避難し、押し寄せる津波から生き延びることができました。



これらの学校では、年間5~10数時間の防災授業を受けていたと言います。また、年に1回、小中合同の訓練が実施され、「小学生を先導する」、「まず高台に逃げる」という教えも徹底されていました。この地域で防災教育を学んだ子どもたちが、普段から行っている行動を当たり前実践した結果が、命を守ることに繋がったのです。

その当時、実際にその中学校の生徒だった方の言葉です。「私たちは“釜石の奇跡”と呼ばれているそうです。でも、これは私たちの普段の取り組みが起こしたもので、何も特別なことではありません。先生方は“普段をしっかりしなさい。勉強の時は学習のルールを大切に、部活の時は練習を大事にし、行事では何のために行っているかを考えて真剣に取り組みなさい”と教えてくれました。先生方は“普段をしっかりしていれば、本番では普段以上の力を出せる”とも言っていました。私たちはこの言葉を信じ、しっかり行ってきました。そして実際に、災害時には普段以上のことができました。」

当たり前のように、なかなかできないことです。日常のさまざまところで、「普段をしっかりする」こと、それを、いざという時の心構えにつなげることが大切だと考えさせられました。

## 11月19日(火)「サイバー犯罪防止教室」

神奈川県警平塚少年・保護センターより講師をお招きし、全校でサイバー犯罪防止教室を実施しました。生徒たちにとっても身近なSNSに潜む危険、インターネットを利用した犯罪について、現場で関わっているお立場から、さまざまな事例とともにわかりやすくお話いただきました。

インターネットを利用した犯罪は年々巧妙になり、知らないうちに犯罪に加担してしまったり、断れない状況をつくりだされてしまったりすることもあります。ニュースや授業で聞いてはいても、「中学生の自分には関係ない」と思っていた人も多いようですが、「今回の話を聞いて、危機感を持った。」、「自分にとっても身近だと感じた。」という感想が多くありました。特に、知らないうちに犯罪に巻き込まれ、自分が加害者にも被害者にもなる可能性があるいつでもあること、軽い気持ちで悪口を書いたことが大きな事件に発展してしまうことなどが印象に残ったようです。「スマホは凶器になる」という言葉も心に残りました。

誰でもいずれはスマホを持つようになることが当たり前になっている中、お話にあった、「想像する」、「判断する」、「思いやる」、「がまんする」という、4つの力を意識しながら、安全に、適切に使ってほしいと願っています。ご家庭でも、ぜひ話題にさせていただければと思います。



## 廊下みがき&ワックスかけを行いました。

11月22日(金)、毎年恒例の全校生徒による廊下磨きを行いました。廊下にしるしをつけ、一人一人の範囲を決めてスポンジで磨き、汚れを落とし、その後、担当の先生方でワックスかけを行いました。皆さんの協力のおかげで、今年も廊下がピカピカになりました。ありがとうございました。



令和6年度幼児教育研修会

こどもの『こころ』の育ち  
～発達に応じた大人のかかわり～



講師 佐久間 路子氏  
(白梅学園大学教授)

先着  
60名

日時 1月10日(金) 14:30~16:30

会場 青少年会館ホール

申込み 12月5日(木)から

・ホームページ・電話(86)9965・FAX(88)1394

教育センター



## 十二月の主な行事予定

日	曜	朝読	学校行事	日	曜	朝読	学校行事
1	日			17	火	○	7組校外学習 ALT来校
2	月		3年個人面談③	18	水		ALT来校
3	火	○	3年個人面談④	19	木		食育の日
4	水		部長会 3年個人面談⑤	20	金	○	
5	木		常任委員会 支援学校入学者選抜	21	土		
6	金		ブックトーク(1-1,3)	22	日		
7	土			23	月	○	
8	日			24	火		全校朝会 大掃除
9	月	○	1・2年個人面談①	25	水		冬期休業(~6日)
10	火	○	1・2年個人面談②	26	木		
11	水		1・2年個人面談③	27	金		
12	木		1・2年個人面談④ 支援学校合格発表 民生委員との懇談会	28	土		
13	金	○	1・2年個人面談⑤	29	日		
14	土			30	月		学校閉庁日
15	日			31	火		学校閉庁日(~3日)
16	月		中央委員会 修学旅行業者選定会 ブックトーク(1-2) ALT来校				令和7年1月7日(火) 全校朝会

学校からお配りした、保護者アンケートは12月4日(水)までとなっております。ご協力をお願いいたします。

中学校給食についてのアンケートが、茅ヶ崎市教委より配付されています。12月6日(金)までとなっておりますので、ご協力をお願いいたします。

なお、1月7日~10日の給食の注文期限は、12月17日です。お忘れのないようにお願いします。

令和6年度卒業証書授与式は、令和7年3月12日(水)です。

## 輝く円中生

### ○令和6年度茅ヶ崎寒川地区中学校創作ダンス発表会 11月9日(土) (於:寒川町民センター)

今年で42回を迎えた地区創作ダンス発表会は、今回が最後の開催となりました。円蔵中学校からは13名が参加し、創作ダンスを披露しました。トップバッターで登場しましたが、緊張を感じさせず、元気な動きで会場を楽しい雰囲気に包んでくれました。全員が真剣にはつらつと取り組んでいる様子が印象的でした。



「No Dance No Life」

(2年) ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇  
(1年) ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇

### ○第25回 湘南アンサンブルコンテスト(吹奏楽部)

金賞 金管六重奏: ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ → 県大会へ  
銀賞 管楽打楽器八重奏: ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇

### ○令和6年度茅ヶ崎寒川地区中学校美術作品展(茅ヶ崎市美術館)

11/16(土)~12/8(日)

円蔵中からも多くの素晴らしい作品が  
出展されています。  
生徒たちの力作をぜひご  
覧ください。

